

3月
March使っている花 ■ ケイオウザクラ、ユキヤナギ、リュウコ
リーネ、フリチラリア（球根付き）

サクラ

花言葉 精神の美／優美な女性

麗らかで儚い薄紅色
花といえば桜、はんなりとあしらって

プロが伝授！花を長く楽しむアドバイス

- 木肌が美しく、花数の多い、つぼみのふくらした枝を選ぶとよいでしょう。
- 生ける際は枝を切り戻し、ハサミなどで枝を割ると水がよくあがります。
- サクラはバラ科、切り花栄養剤を使用することで、花色も美しく長く楽しめます。

お家で簡単！3ステップアレンジ

- ① 安定感のある器を選び、水を多めに注ぎ、適量の切り花栄養剤を加えます。サクラの枝の切り口にハサミをマイナスに入れ、枝を割ります。ユキヤナギは水に浸かる部分の葉をあらかじめ取り除きます。
- ② サクラを2枝ほど生いけます。花が咲いている枝は、器の高さ：枝の長さ＝1：2くらいのバランスで、つぼみがちな細い枝はもっと長めでもOKです。
- ③ ユキヤナギの細いラインと、桜餅のような甘い香りがするリュウコリーネをサクラの枝の合間に遊ばせるようにあしらいましょう。立ち姿が美しいフリチラリアを添えました。

サクラサク、美しい春へ

どんなに困難な時代であっても、日本人の心の花・桜の季節は巡ってきます。古代の人々は桜を神と畏れ敬い、精霊が宿る樹と伝えました。花店には促成のケイオウザクラ（啓翁桜）やヒガンザクラ（彼岸桜）、春が深まるにつれミヤビザクラ（雅桜）などが出回ります。リビングに桜を飾って、一足早いおうち花見を楽しんで！

WEEKEND
FLOWER

サクラ

花言葉 精神の美／優美な女性

麗らかで儚い薄紅色
花といえば桜、はんなりとあしらって

プロが伝授！花を長く楽しむアドバイス

- 木肌が美しく、花数の多い、つぼみのふくらした枝を選ぶとよいでしょう。
- 生ける際は枝を切り戻し、ハサミなどで枝を割ると水がよくあがります。
- サクラはバラ科、切り花栄養剤を使用することで、花色も美しく長く楽しめます。

お家で簡単！3ステップアレンジ

- ① 安定感のある器を選び、水を多めに注ぎ、適量の切り花栄養剤を加えます。サクラの枝の切り口にハサミをマイナスに入れ、枝を割ります。ユキヤナギは水に浸かる部分の葉をあらかじめ取り除きます。
- ② サクラを2枝ほど生いけます。花が咲いている枝は、器の高さ：枝の長さ＝1：2くらいのバランスで、つぼみがちな細い枝はもっと長めでもOKです。
- ③ ユキヤナギの細いラインと、桜餅のような甘い香りがするリュウコリーネをサクラの枝の合間に遊ばせるようにあしらいましょう。立ち姿が美しいフリチラリアを添えました。

サクラサク、美しい春へ

どんなに困難な時代であっても、日本人の心の花・桜の季節は巡ってきます。古代の人々は桜を神と畏れ敬い、精霊が宿る樹と伝えました。花店には促成のケイオウザクラ（啓翁桜）やヒガンザクラ（彼岸桜）、春が深まるにつれミヤビザクラ（雅桜）などが出回ります。リビングに桜を飾って、一足早いおうち花見を楽しんで！

WEEKEND
FLOWER使っている花 ■ ケイオウザクラ、ユキヤナギ、リュウコ
リーネ、フリチラリア（球根付き）3月
March3月
March使っている花 ■ ケイオウザクラ、ユキヤナギ、リュウコ
リーネ、フリチラリア（球根付き）

サクラ

花言葉 精神の美／優美な女性

麗らかで儚い薄紅色
花といえば桜、はんなりとあしらって

プロが伝授！花を長く楽しむアドバイス

- 木肌が美しく、花数の多い、つぼみのふくらした枝を選ぶとよいでしょう。
- 生ける際は枝を切り戻し、ハサミなどで枝を割ると水がよくあがります。
- サクラはバラ科、切り花栄養剤を使用することで、花色も美しく長く楽しめます。

お家で簡単！3ステップアレンジ

- ① 安定感のある器を選び、水を多めに注ぎ、適量の切り花栄養剤を加えます。サクラの枝の切り口にハサミをマイナスに入れ、枝を割ります。ユキヤナギは水に浸かる部分の葉をあらかじめ取り除きます。
- ② サクラを2枝ほど生いけます。花が咲いている枝は、器の高さ：枝の長さ＝1：2くらいのバランスで、つぼみがちな細い枝はもっと長めでもOKです。
- ③ ユキヤナギの細いラインと、桜餅のような甘い香りがするリュウコリーネをサクラの枝の合間に遊ばせるようにあしらいましょう。立ち姿が美しいフリチラリアを添えました。

サクラサク、美しい春へ

どんなに困難な時代であっても、日本人の心の花・桜の季節は巡ってきます。古代の人々は桜を神と畏れ敬い、精霊が宿る樹と伝えました。花店には促成のケイオウザクラ（啓翁桜）やヒガンザクラ（彼岸桜）、春が深まるにつれミヤビザクラ（雅桜）などが出回ります。リビングに桜を飾って、一足早いおうち花見を楽しんで！

WEEKEND
FLOWER

サクラ

花言葉 精神の美／優美な女性

麗らかで儚い薄紅色
花といえば桜、はんなりとあしらって

プロが伝授！花を長く楽しむアドバイス

- 木肌が美しく、花数の多い、つぼみのふくらした枝を選ぶとよいでしょう。
- 生ける際は枝を切り戻し、ハサミなどで枝を割ると水がよくあがります。
- サクラはバラ科、切り花栄養剤を使用することで、花色も美しく長く楽しめます。

お家で簡単！3ステップアレンジ

- ① 安定感のある器を選び、水を多めに注ぎ、適量の切り花栄養剤を加えます。サクラの枝の切り口にハサミをマイナスに入れ、枝を割ります。ユキヤナギは水に浸かる部分の葉をあらかじめ取り除きます。
- ② サクラを2枝ほど生いけます。花が咲いている枝は、器の高さ：枝の長さ＝1：2くらいのバランスで、つぼみがちな細い枝はもっと長めでもOKです。
- ③ ユキヤナギの細いラインと、桜餅のような甘い香りがするリュウコリーネをサクラの枝の合間に遊ばせるようにあしらいましょう。立ち姿が美しいフリチラリアを添えました。

サクラサク、美しい春へ

どんなに困難な時代であっても、日本人の心の花・桜の季節は巡ってきます。古代の人々は桜を神と畏れ敬い、精霊が宿る樹と伝えました。花店には促成のケイオウザクラ（啓翁桜）やヒガンザクラ（彼岸桜）、春が深まるにつれミヤビザクラ（雅桜）などが出回ります。リビングに桜を飾って、一足早いおうち花見を楽しんで！

WEEKEND
FLOWER使っている花 ■ ケイオウザクラ、ユキヤナギ、リュウコ
リーネ、フリチラリア（球根付き）3月
March